

戦時戦後史の立会人 渋沢敬三



渋沢史料館所蔵『柏葉拾遺』掲載

2012年9月15日(土)

13:30~16:45 (開場13:00)

主催 渋沢敬三記念事業実行委員会

後援 公益財団法人渋沢栄一記念財団

会場 渋沢史料館 会議室 【入場無料・要事前申込】

* 渋沢敬三記念事業実行委員会は財団法人MRAハウスの助成を受けています。

◆プログラム

13:30 開会挨拶

渋沢雅英 (公益財団法人渋沢栄一記念財団理事長、
財団法人MRAハウス代表理事)

13:45 第1部 講演 「渋沢敬三の人物と思想—学生時代と思想形成」
由井常彦 (明治大学名誉教授)

~休憩~

15:00 第2部 シンポジウム 「戦時戦後史の立会人 渋沢敬三」

報告	経済人としての渋沢敬三	武田晴人 (東京大学教授)
コメント	金融史の視点から	伊藤正直 (東京大学教授)
コメント	財政史の視点から	浅井良夫 (成城大学教授)
討論、質疑		

* 当日はUstreamによるインターネット中継を予定しています。

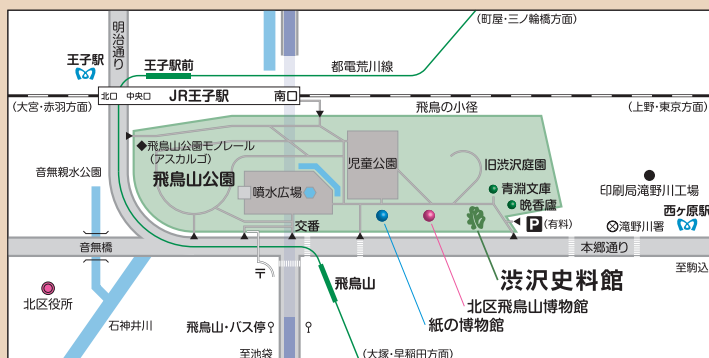
◆お申込み (先着40名様)

氏名(ふりがな)、所属先、連絡先(電話またはE-mail)をお書きの上、E-mail、Fax、往復はがきでお申込みください。Faxの場合は返信用Fax番号を、往復はがきの場合は返信用住所、氏名をご明記ください。

申込先:

渋沢敬三記念事業実行委員会
E-mail: keizokinen50@shibusawa.or.jp
Fax: 03-3910-0085
〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1
(公財)渋沢栄一記念財団内

◆アクセス



J R 京浜東北線王子駅南口下車徒歩約5分 / 東京メトロ南北線西ヶ原駅下車徒歩約7分
都電荒川線飛鳥山停留所下車徒歩約4分 / 都バス飛鳥山停留所下車徒歩約5分

民俗学に造詣が深く、民俗学者としても知られる渋沢敬三は、祖父渋沢栄一の懇望に従って実業の世界に身を投じ、横浜正金銀行を経て第一銀行に入行して経営に携わり、さらに戦時経済体制のもとで日本銀行副総裁、総裁となった。戦後には幣原内閣の大蔵大臣となったほか、金融制度調査会の会長などの要職を歴任し、戦時から戦後にかけて、日本経済の大きな変革の節目に立ち会うことになる。このシンポジウムでは、こうした渋沢敬三の思想形成と経済人としての足跡をたどりながら、敬三が生きた激動の時代を振り返る。